

2021年

## 第37回 クリスマスイヴ賛美礼拝

12月24日（金） 午後7時～8時

日本基督教団 仙台青葉荘教会

牧 師 潮 義男

仙台市青葉区錦町1-13-48 TEL 022-222-3855

<http://www.aobasou.com>

### < 定期集会のご案内 >

教会学校(幼・小・中)	毎週日曜日	午前10時15分～11時30分	休止中
礼 拝	毎週日曜日	午前10時15分～11時30分	
中央地区会	第3日曜日礼拝後	午後0時00分～1時30分	休止中
祈禱会（昼の部）	毎週水曜日	午後1時30分～2時30分	
祈禱会（夜の部）	毎週水曜日	午後7時00分～8時00分	休止中

どなたでもお気軽におでかけください。

## 第37回 クリスマスイヴ賛美礼拝（2021年12月24日）

司会 高橋  
奏楽 石川

前 奏

招 詞 イザヤ書 60:1～2

起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り、主の栄光はあなたの上に輝く。  
見よ、闇は地をおおい、暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝きいで、  
主の栄光があなたの上に現れる。

賛 美 讃美歌111 『神のみ子はこよいしも』（1節）

1 神のみ子はこよいしも  
ベツレヘムに生まれたもう  
いざや友よ もろともに  
いそぎゆきて拝まずや 拝まずや

聖 書 マタイによる福音書1:18～22（告知）

イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。

「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

賛 美 讃美歌94 『ひさしくまちにし』（1節）

1 久しく待ちにし 主よ、とく来たりて  
み民のなわめを 解き放ちたまえ。  
主よ主よ、み民を 救わせたまえや。

聖 書 ルカによる福音書2:1～7（降誕）

そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。これは、

キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いいなすけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼いの葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

賛美 讃美歌第二編 219 『さやかに星はきらめき』（1節、3節）

- |  |  |
|--|--|
| 1 さやかに 星はきらめき<br>み子イエス 生まれたもう<br>長くも やみ路をたどり<br>メシヤを待てる民に<br>あたらしき朝はきたり<br>さかえある日はのぼる。<br>いざ聞け み使いうたう<br>たえなる 天（あま）つみ歌を<br>めでたし きよしこよい | 3 「たがいに愛せよ」と説き<br>平和の道を教え<br>すべての くびきを こぼち<br>自由をあたえたもう<br>げに 主こそ 平和の君<br>たぐいなき愛の人<br>伝えよ その福音（おとずれ）を<br>ひろめよ きよきみわざを<br>たたえよ こえのかぎり |
|--|--|

聖書 ルカによる福音書 2:8～14（賛美）

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群の番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が、周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った、「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシヤである。あなたがたは、布にくるまって飼いの葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」すると、突然、この天使に天の大群が加わり、神を賛美して言った。「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

[天井灯点灯、ろうそく消灯]

賛美 讃美歌 21 263 『あら野のはてに』（1節、4節）

- |   |   |
|---|---|
| 1 あら野のはてに 夕日は落ちて、<br>たえなるしらべ あめよりひびく。<br>グローリア インエクセルシステオ<br>グローリア インエクセルシステオ | 4 今日しも御子は うまれたまいぬ。<br>世界の民よ、 よろこびうたえ。<br>グローリア インエクセルシステオ<br>グローリア インエクセルシステオ |
|---|---|

（「いと高きところでは神に  
栄光があるように」の意）

祈 禱

牧師 潮 義男

説 教 『希 望』

牧師 潮 義男

賛 美 讃美歌109 (第二編244) 『きよしこの夜』 (1節、3節)

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1 | きよしこのよる 星はひかり、<br>すくいのみ子は まぶねの中に<br>ねむりたもう、いとやすく。 | 3 | きよしこのよる み子の笑みに、<br>めぐみのみ代の あしたのひかり<br>かがやけり、ほがらかに。<br>アーメン |
|---|---|---|--|

献 金 (福祉施設や歳末助け合いにささげます)

感謝の祈り

賛 美 讃美歌112 (第二編246) 『もろびとこそりて』 (1節、5節)

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1 | もろびとこそりて むかえまつれ、<br>久しく待ちにし 主は来ませり<br>主は来ませり、主は、主は来ませり。 | 5 | 平和のきみなる み子をむかえ、<br>救いのぬしとぞ ほめたたえよ<br>ほめたたえよ、ほめ、ほめたたえよ。<br>アーメン |
|---|---|---|--|

頌 栄 讃美歌541 『父、み子、みたまの』

父、み子、みたまの おおみかみに  
ときわにたえせず みさかえあれ  
みさかえあれ アーメン

祝 禱

牧師 潮 義男

後 奏